

高齢者福祉論 I

担当教員 後藤 秀昭

配当年次 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

1. 高齢者への支援に必要な介護保険法の諸手続き方法、居宅・施設サービスの種類、地域支援事業、地域包括支援センターの機能や役割について理解できる。
2. 高齢者への総合的相談援助に必要な高齢者諸関係法を理解できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	介護保険法目的、保険者と被保険者、保険料を理解させる。
2	介護保険法の要介護認定の仕組みとプロセスを理解させる。
3	介護保険サービスの体系を理解させる。
4	介護保険法の居宅・介護予防・地域密着型サービス、住宅改修を理解させる。
5	介護保険法の施設サービスの種類、役割、機能を理解させる。
6	地域包括支援センターの役割と実際を理解させる。
7	介護保険法における地域支援事業、苦情処理、審査請求、介護保険制度の最近の動向を理解させる。
8	介護保険法における組織及び団体の役割と実際を理解させる。
9	介護保険法における専門職の役割と実際を理解させる。
10	介護保険法におけるネットワークとその実際を理解させる。
11	老人福祉法の歴史と概要、サービスと援助を理解させる。
12	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律を理解させる。
13	高齢者の権利擁護と成年後見制度を理解させる。
14	高齢者の居住の安定確保に関する法律を理解させる。
15	その他の高齢者関連法と諸施策を理解させる。

【履修上の注意事項】

毎回講義資料を配布するので、授業後はテキストの内容とともに復習し、理解しておくこと。
また、授業終了時には次回の授業の展開を予告するので、事前配布の資料を予習しておくこと。

【評価方法】

前回授業の振り返り質問への応答状況（30%以内の範囲）および定期試験（課題レポート評価を除いた配点）の合計で評価する。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』（最新版）中央法規。
野崎和義監修『社会福祉六法』（最新版）ミネルヴァ書房。

【参考文献】

授業中、適宜紹介